

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	令 和 2 年 6 月 1 8 日 ( 木 )		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	6 月 1 8 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	6 月 1 8 日 午 前 1 1 時 1 5 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
	木 村 雅 文	出 席	
説 明 員	山上教育部長、星野参事、佐藤次長兼教育政策室長、		
	栗津副参事兼教育総務課長、片岡学務課長、		
	教育政策室田野担当課長、小須田学校給食課長、福田生涯学習課長、		
	関根生涯学習課課長、教育総務課榎本主幹		
書 記	教育総務課総務担当 香林副主幹、田仲主事補		
傍 聴 人	無		

## 会議の経過及び結果

教育長

お久しぶりでございます。今年度初めての対面での教育委員会となりました。今週から通常授業も始まりしました。この3ヶ月を振り返ってみますと、2月27日、安倍総理大臣から突然の学校休業要請があり、そこから全国の教育委員会や学校は翻弄と奔走が始まりました。本市では、3月4日から3月26日までを臨時休業としました。しかし、4月7日の政府の緊急事態宣言の発令を受け、県内の学校では5月6日まで休業期間が延長されていましたが、4月27日の県知事の休業期間の更なる延長要請を受け、本市も5月31日まで延長することになりました。結果、6月1日の学校再開まで89日間という長期にわたり休業が続きました。平時の夏休みの2倍以上の休業期間中、子供大人も、今後教科書にも掲載されるであろう大きな社会変化を経験してきました。分散登校も終わり今週15日から通常授業が開始されました。以下、5月29日に市内の教職員向けに私から発出した「学校再開にあたって」からの引用で挨拶に代えさせていただきます。

「昭和の学校」が終焉を迎え、小学校新学習指導要領の全面実施とともに ICT をマストアイテム化した個別最適化された学びや、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない教育を実現すべく「令和の学校」が始まろうとしていました。そんな矢先の新型コロナウイルスの襲来で、「学校の新しい生活様式」に基づき、可能な限り感染拡大のリスクを低減させて、教育活動を実施しなければならなくなっていました。

6月1日からは、従前通りの活動を復活させる「再開」だけではなく、「学校の新しい生活様式」の「開始」でもあります。単なるウイルス感染防止という消極的な対応ではなく、新たな学びへの変革というスタートラインに私たちは今立っています。

これからの時代に求められる学校は、知徳体を育むセーフティーネットとしての学校、誰一人取り残すことのない教育活動を推進する「力のある学校」です。その実現に向けて、まずは新型コロナウイルス感染症に関する

	<p>る正しい理解と、いじめや差別、偏見を許さない学校・学級風土を醸成していかなくてはなりません。そして、子供たちの薄れてしまった「絆づくり」と、冷めてしまった「心の温度」を上げていかなくてはなりません。</p> <p>「学級経営のゴールデンタイム」を失した極めて特異な状況で、子供たちは例年にない緊張感をもって6月からの再開を迎えました。教職員や保護者の方々も生活の変化などに伴い、これまで以上にストレスを抱える可能性もあります。特に教職員の皆さんは、子供たち、保護者、そして同僚に対して受容的な関わりと細心の配慮で臨んでいただくためにも、明るく元気でいてもらいたいと思います。そのために自らの心身の健康に留意しつつ、あらゆる手段で「子供たちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する」という観点に立って対応して欲しいと願っています。</p>
教 育 長	<p>ただ今から、令和2年第6回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。はじめに、令和2年第3回分及び第5回分の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p> <p>なお、第4回分につきましては、書面審議のため会議録はございません。</p>
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件、個人情報及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>「報告事項③ 令和3年度特別支援学級及び通級指導教室設置計画(案)」、「報告事項④ 市内中学校の生徒指導案件について」、「報告第11号 戸田市社会教育委員の委嘱について」、「報告第12号 戸田市公民館運営審議会の委員の委嘱について」、「報告第13号 戸田市立図書</p>

	館運営協議会委員の委嘱について」、「報告第14号 戸田市立郷土博物館協議会委員の委嘱について」は、個人情報及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。
各委員	異議なし
教育長	それでは「報告事項③及び④、報告第11号から第14号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案」について御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症に関する相談内容及び件数について（鈴木委員）</p> <p>② 児童生徒の視力について（鈴木委員）</p> <p>それでは、鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案① 新型コロナウイルス感染症に関する相談内容及び件数について」につきまして事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症に関する相談内容及び件数について説明させていただきます。本日配付しました資料1ページを御覧ください。</p> <p>それでは内容を説明いたします。御覧のとおり、相談については、安倍首相が2月27日に学校の休業要請を発表した2月27日～5月28日までに、各担当へ寄せられた相談内容及び要望の件数についてまとめたものでございます。教育総務課で説明申し上げますが、質疑については各担当で対応いたします。一番多いのは教育センターへのSNS相談で46件です。次に多いのは、休校中の一時受け入れについて17件、学校再開について7件になります。その他の相談は記載の通りとなります。</p> <p>学校の休業につきましては、令和2年2月28日、3月26日、4月6日、4月27日、5月26日の5回にわたり保護者へ通知もしくはホームページでお知らせしております。</p> <p>そのため、保護者の方々が、子供の居場所や自分の仕事を心配して不安</p>

	<p>になり困惑したことは想像の尽くしがたいことと思っております。学校が再開できたことは本当によかったと思いますが、教育委員会では感染防止対策を講じてできる限り支援して参ります。</p>
教 育 長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>教育センターへのSNS相談の内容について伺いたい。</p>
事 務 局	<p>教育センターへのSNS相談の内容について申し上げます。相談の内容は、多いのは中学校3年生からの相談が14件、小学校では4年～6年生を中心に複数回の相談がありました。</p> <p>月毎の相談件数については、3月中が12件、4月中は21件となります。SNS相談は、本来7月から開始する予定で4月19日まではやっていなかったため、4月20日から30日までの件数となります。5月は13件です。</p> <p>内容につきましては、家庭での悩み、親との関係、家に居たくない、親からこんなこと言われたなどで次に多いのが学校への不安で、家庭で過ごすことが多くなったことによる相談が寄せられています。</p> <p>長いもので1時間程、LINEでやりとりし、「また来るね。」の返事で終了するパターンが多かったと聞いております。</p>
委 員	<p>オンライン学習に対する相談はどんなものでしたか。</p>
事 務 局	<p>オンライン学習についての保護者からの相談の1件は、オンライン学習に対する各学校の対応の違いがあったのかということと、オンラインではなく対面でやってほしいという相談が1件です。</p> <p>また、オンライン学習データを一太郎ファイルでホームページにアップしているためダウンロードできないとの相談があり、該当校にPDF形式で掲載するよう指示しました。</p> <p>各学校に対しては、保護者からオンライン学習をやらせてもらって良かったとか、先生方が声をかけてくれて良かった、生活のリズムが取り戻せた</p>

	という声が寄せられました。
委員	議会の答弁で聞いたのですが、コロナウイルスに関してどうであったのかアンケートを取るのですか。
事務局	コロナウイルスに関してアンケートを取る予定はありませんが、例年5月に中学校に上がったお子さんの心の状況を把握する必要があるということで、1年生及び2年生の全員に「学校生活アンケート」を取っており、6月の学校再開後の1、2週間位の間で実施します。また、それ以外に全校で子供たちにアンケートを取っています。
委員	アンケートの内容はコロナウイルスということではなく、生活全般ということですか。
事務局	コロナウイルスではなく、子供たちの心の中を知るアンケートもしくは面接を行うということで確認しています。
委員	通常のアンケートの中から見えてくるものについて、今後紹介していただきたい。
教育長	コロナウイルスの相談件数については、他の自治体の状況を聞いていますか。
事務局	把握しておりません。
教育長	県の指導事務主管課長会議などで確認していただきたい。客観的な根拠はありませんが、戸田市の苦情件数は比較的少ないと思っています。学校再開に向けて危ないとか行かせたくないとか、もっと多くあっても不思議ではありません。相談件数は、メールや電話も入った件数ですか。
事務局	相談は電話によるものも含まれています。SNS相談を除いた44件中、8件が教育政策室に寄せられたもので、36件が教育総務課で受けたものです。学校再開時には、休業を延長してほしいという要望が多かったです。
教育長	学校はきちんとできてやってくれて当たり前という傾向があります。教師が献身的に取り組み、本来業務ではない学童の一時預かりまでやってい

	<p>ます。教育委員の皆様には、学校に対する苦情や意見は届いていますか。</p>
委員	<p>周囲の人では、急に学校休校と言われて、仕事をどうしようといった声はありました。一時預かりへの相談が17件というのは、コロナウイルスよりも学校が無いことについての不安と戸惑いのあらわれではないでしょうか。</p> <p>学校再開にあたり、学校の消毒やマスク等の感染防止対策についての心配を持っていると思います。</p> <p>先生方が頑張っていることと、今後も学校に足を向けられない保護者に対して安心をいただくために、情報を発信していただきたいと思います。</p>
教育長	<p>大事な御指摘だと思います。学校側は、保護者にいかに安心や安全を届けるかという努力をしていかななくてはなりません。様々な御意見もいただきますそれは真摯に受け止め、日頃から信頼関係を築いていく必要があります。</p>
委員	<p>各学校のフェイスブックやホームページを見ると、学校からの情報発信はきちんとやっていると感じました。私はこの相談件数は少ないと思います。</p>
教育長	<p>教育委員会に寄せられるメールを見ていて感じるのは、学校教育とは、家庭と学校が両輪で機能していくことを理解していただくことが必要だということです。消毒、体温計、体温センサー、フェイスガードなど、次々と学校が対応すべきという意見も寄せられています。</p> <p>その時の気温の関係もあり、接触型体温計が常に正確なわけではありません。何よりも各家庭で子供をしっかり見て、休ませる勇気をもってもらわないと、学校でどんな手立てを講じても感染防止の徹底は難しいわけです。そのことをもっと発信していく必要があると思います。</p>
委員	<p>今回のことで、小中学校は対応が大変でしたが、大学ではオンライン学習は問題がないのですか。</p>

<p>委員</p>	<p>私もオンラインで授業やっていますが、表面に出ていないだけで、大変です。何百人もの学生が同時にサイトにアクセスするため、インフラが潰れています。ようやく落ち着いてきましたが、地方は別として、都心の大きな大学はどこも大変です。レポートも全部オンラインで提出となります。また、学生一人一人の情報環境も違います。私の周りでも環境が整っておらず、アクセスできない生徒や、高齢の先生がどうやってビデオを撮るかなどと問題がある中で、6月となりだいぶ慣れてきて、問題を解決して来たのが実情です。しかし、大学には情報の専門家が多いので彼らが中心となって取り組んでいます。</p>
<p>教育長</p>	<p>続きまして、鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案② 児童生徒の視力について」につきまして、事務局より説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>学務課でございます。戸田市小学校児童・中学校生徒の視力について説明申し上げます。</p> <p>小学校児童については、男子児童で見ると、視力1.0以上の割合がゆるやかに減少しており、平成27年から令和元年度でみると、70%から65.1%となっていることがグラフからわかると思います。女子児童につきましても、63.1%から58.3%とゆるやかに減少しています。</p> <p>また、裸眼視力省略者、つまり常時メガネやコンタクトで視力矯正している児童についても、男子で、9.8%から11.4%、女子児童で12.7%から15.1%と増加しています。</p> <p>この二つの要因から、過去5年間の戸田市の小学校児童において、年々視力低下の傾向がみられるとすることができます。さらに、男女別の比較では、男児よりも女児により顕著に視力低下の傾向が見られます。</p> <p>続いて中学校生徒について御覧ください。小学校同様、男子生徒で見ると、視力1.0以上の割合がゆるやかに減少しており、平成27年から令和元年でみると、45.8%から40.4%となっており、女子生徒については、1.0以上の生徒の推移は年度ごとにばらつきがあります。</p>



	<p>裸眼視力省略者についても男子、女子ともに年度毎にばらつきがみられます。過去5年間の本市の中学校生徒において、特定の傾向はここでは申し上げられませんが、今後 ICT 環境のさらなる整備やオンライン学習等の普及により、パソコン画面等を凝視する時間が増加することが予想される昨今、そのことと児童生徒の視力低下についての関連等、今後引き続き児童生徒の視力について、注意深く分析する必要があります。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>児童生徒の視力データをありがとうございました。</p> <p>視力が低下すると、学校に行っても良く見えなくなり学力の低下となります。ストレートに影響はすると限らないと思いますが、学習において、大型テレビなど見えにくい提示をやめて、プロジェクターを使用させていただきたい。</p> <p>一方、目を大事にしながら、読書をしましょう、ICT を授業に取り入れてほしいと、そうした中で視力の状況はどうなっているのかということで、提案しました。</p>
教 育 長	<p>なぜ小学校は低下していて、中学校女子では、それほど視力が低下していないのは何か理由はあるのですか。</p> <p>視力低下の傾向は、戸田だけの傾向か、全国的な傾向ですか。</p>
事 務 局	<p>今回、資料を作るときに、報道や色々な資料や情報を見るにあたり、視力低下は全国的な傾向で、特に小学校において視力低下が顕著で、中学校になると、視力が固まってきます。</p>
教 育 長	<p>スマホ老眼やブルーライト以外で考えられる原因があるのではないのでしょうか。これだけ視力低下の数字が出ているので、歯止めをかけたいのですが、緑を見るようにだけ言っても…。</p>
委 員	<p>私は、中学生の時から視力が悪く、親からも遠くの緑を見なさいと言われていました。今は、そうした目を休められる緑の景色が周りにない。そ</p>

	<p>ういう環境が減ってきていて、目を休められることがないのではないか。そこにパソコン画面が入ってきたら当然目が悪くなります。</p> <p>質問ですが、矯正として裸眼視力を測っていない人の割合が出ていますが、この視力矯正者はきちんと視力矯正をしているのか。裸眼視力矯正者は、矯正した視力を測っているということですか。</p>
事務局	<p>そうです。裸眼視力矯正者は、矯正されています。特に視力が0.3以下の場合は、授業用になんらかの視力矯正をしています。その後治療の勧告など、結果に基づき通知が発出されています。</p>
教育長	<p>せつかくの小中学校児童生徒の視力データなので、校長会へも提供してください。視力低下が学力に与える影響は少なからずあるわけですから、視力の低下を防止する何らかの対応策を学校とともに考えてほしいと思います。</p>
事務局	<p>資料を作るにあたり、市内において目にやさしい取り組みについて考えてみたところ、先日新曾中学校区からノーテレビ、ノーゲーム、ノーパソコンデーをこの期間設定しますということがありました。定期的に目を休める習慣にもつながるものと思います。</p>
教育長	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。</p> <p>秘密会を除き、詳細につきまして、これから各所属長より①から⑤まで資料NO. 2に基づき報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了した後に伺います。</p>
事務局	<p>「報告事項① 令和2年6月戸田市議会定例会 教育関連一般質問及び常任委員会」について御説明します。</p> <p>今回は、10名の議員から一般質問がありました。1人目の三浦芳一議員からは、新型コロナウイルスの現状と対策のうち、小中学校などの教育現場の取組についてでございます。2月以降の感染防止のための対応や、オンライン学習や心のケアなどについて答弁しております。</p>

2人目のむとう葉子議員につきましては、1点目として、田辺製薬跡地の解体工事に伴う安全対策でございます。解体業者と戸田第二小学校との間で協議を進め、学校便り等で関係する児童生徒へ周知、注意喚起していることを答弁しております。

2ページ目に参りまして、2点目は学校休業における学校給食取引業者を守る取り組みと、児童生徒の食育についてでございます。学校給食取引業者に対しては、キャンセルできない食材の代金、また納品を先送りしたことにより発生する保管料の支払いを行う旨、また第二波、第三波の発生による休業時のお弁当の配布の対応については、感染状況や学校休業状況を考慮した上で対応することについて答弁しております。

3人目の本田哲議員からは、新型コロナウイルス感染症にかかる教育委員会の対応についてで、1点目は学校休業中に実施されたオンライン学習についてでございます。オンライン学習の実施にいたる過程や実施状況・課題について答弁しております。

2点目については、学校再開における子供たちへの対応についてで、4ページにありますように、校内の感染症対策や子供たちへの精神的なケアについて答弁しております。

4人目の高橋秀樹議員からは、新型コロナウイルス感染症による学校の休業についてで、学校休業に伴う授業時間数の確保や学力低下を懸念する声への対応、小学生のオンライン学習や実施に伴う配慮や工夫について答弁しております。

5人目の竹内正明議員からは、戸田翔陽高校敷地内に新設される特別支援学校の本市の把握状況についてで、6ページにありますとおり、新設される特別支援学校の概要と市民への周知状況について答弁しております。

6人目の遠藤英樹議員からは、コロナ禍における大学生等への支援について質問が出され、市独自の支援制度はないが、国による支援が開始されていること、また戸田市の奨学資金及び入学準備金については、概ね1年

の返済猶予の制度を設けていることについて答弁しております。

7人目の浅生和英議員からは、海外留学奨学制度についてで、語学留学を留学期間の対象とする等の見直しの予定はないかということについて、寄付をいただいた方の御意向を勘案し、個人の語学力のスキルアップを目的とするのではなく、海外の教育機関で学究を志すことを目的としているため、現在のところ見直しをする予定はないことを答弁しております。

8人目の斎藤直子議員からは、学校給食停止による課題と対応で、フードロスを防ぐための対応や、フードパントリーの実施について答弁しております。なお、このフードパントリーの実施につきましては、学務課の職員が市のホームページを通じた受付、学校給食課の職員が、食品の仕分けと当日の配布行い、8ページにありますように多数の感謝の声をいただきました。

9人目の酒井郁郎議員につきましては、戸田第一小学校建て替えにおけるプールの取り扱いで、戸田第一小学校の建て替えに際し、プールを建設せずにスポーツセンターや民間のスポーツ施設の利用ができないかとの質問でございます。プールの使用を65年に想定した場合に、施設コスト及び運用コストにかかる全体の金額は、2億6千3百万円程度となり、年額換算は400万円程度ですが、戸田第一小学校は児童数が約1,000人の大規模校であることから、バスによる移動経費だけで400万円を超えることもあり、設計上では現在建設している校舎の屋上にプールを設置する旨を答弁しております。

10人目の林冬彦議員からは、WITH コロナ時代における「未来への投資」についてでございます。

1点目の学校教育については、ICT環境の更なる充実を図っていきたいが、それには大きな財政支出を伴うことから、財政部局と調整をしながら進めていく旨答弁しております。

2点目の社会人教育では、対面の講座だけではなく、オンラインの講座の併用により、これまで接点のなかった受講生がつながり、新たな学習コ

	<p>コミュニティ形成されるよう、新たな生涯学習の仕組みづくりを進めていく旨を答弁しております。</p> <p>次に、資料はございませんが、常任委員会では、補正予算において、美谷本小学校の教室棟外壁改修工事及び笹目中学校教室棟西棟外壁工事及び構造等改修工事を令和3年度に実施するための繰越明許費の設定等を提案しております。なお、両工事につきましては、児童生徒のいない夏休み期間に実施予定であったアスベスト除去工事が夏休みの短縮で実施できなくなったことによる繰り越しでございます。</p>
事務局	<p>続きまして、「報告事項② 令和2年度における教科書展示会の開催について」でございます。11ページ、12ページを御覧下さい。</p> <p>御覧のように、教科書展示会は県内各所で行われております。</p> <p>本市は教育センター2階に教科書センターを設置し、6月12日から6月25日までの14日間、教科書展示を行っております。すでに教育委員にお越しいただいております。学校関係者が中心ですが、昨日までの6日間で、延べ44人の方々に起こしいただいております。</p>
事務局	<p>続きまして、資料の14ページでございます。</p> <p>「報告事項④ 生涯学習課所管施設の再開について」ご報告いたします。</p> <p>政府の緊急事態宣言解除に伴い、市の新型コロナウイルス対策本部会議が開催され、4つの施設について再開または一部再開することとなりましたので御説明させていただきます。まず、公民館につきましては、5月31日まで臨時休館しておりましたが、複合施設の施設管理を所管しております福祉センターが、6月1日より窓口業務のみを再開することが決定したため、市内の3つの公民館も同日に窓口業務のみを再開することとなりました。なお、一部の講座は7月より感染防止対策を講じた上で順次開催する予定でございます。</p> <p>続きまして、15ページの図書館サービスの段階的な再開についてご報告いたします。戸田市立図書館では、5月20日より一部サービスを再開</p>

していましたが、本市新型コロナウイルス対策本部の決定を受け、段階的にサービスを再開していくことになりました。

第1ステップの5月といたしまして、5月26日から、資料の予約とリクエストが中央図書館と戸田公園駅前配本所でできるようになり、次に6月1日より分館、分室でも福祉センターの再開と併せて同様のサービスができるようになりました。

次に、第2ステップでは、6月9日から中央図書館1階と、分室分館で書棚から図書等を選んで貸し出しができるようになりました。6月16日からは自習席、パソコン席等の利用を再開し、併せて中央図書館と上戸田分室の館内での滞在時間を30分から90分に延長しております。また、今後は7月1日以降、一部のイベントを再開する予定です。

続きまして16ページを御覧願います。

3の感染防止対策は御覧の通りでございますが、これ以外に感染者が発生した場合を考慮いたしまして、入館者カードに名前と連絡先をご記入いただいております。また、自習席等は約2メートルの間隔をあげ、座席数を大幅に減らしてご利用いただいております。

続きまして18ページでございます。郷土博物館とアーカイブズ・センターについてでございます。両施設は4月1日からオープン予定でありましたが、新型コロナウイルスの関係で臨時休館しておりました。しかし、6月1日から図書館とほぼ同様の感染症対策を講じた上で再開いたしました。なお、郷土博物館の常設展示室につきましては、24年ぶりのリニューアルオープンでございます。

次に20ページを御覧願います。彩湖自然学習センターの一部再開（6月1日から）についてでございます。当施設は新型コロナウイルスの関係で3月4日から臨時休業しておりましたが、6月1日より、郷土博物館と同様の感染症対策を講じた上で、一部の展示室を再開いたしました。

再開した展示室は、1階「水中のふしぎ」、4階「学習室」（自然写真展）、

	5階「荒川のすがた」であり、これ以外は体験型の施設であるため閉鎖しております。
教育長	次に⑥その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委員	報告事項①で、「オンライン授業」と「オンライン学習」の使い方に定義はありますか。
事務局	本市では、家庭学習の一つの方策としてオンラインを使った学習支援をやってまいりましたので、名称としては「オンライン学習」と整理しております。今後の第2波、第3波に向けて、授業として扱うかどうかについては、慎重に協議しながら検討していきたいと考えております。その際には「オンライン授業」という名称を使う可能性はありますけれども、現段階では「オンライン学習」で統一しております。
委員	オンライン学習を、授業カウントするかどうかということですか。
事務局	動画配信だけでは、見届けの部分では弱いということが、事務局内でも共有されました。一部は双方向によるオンライン学習をしておりますが、現時点ではほとんどが一方の配信であり、家庭学習の一つの方策としてとらえております。
教育長	<p>オンラインでやったものが、評価を含めてできており、改めて対面授業として学校で授業をやらなくともよいということが学校長の判断として言えるのであれば、授業としてカウントしようということなのです。</p> <p>だから、今のところ、見立てはよいものはたくさんあるのですけれども、授業としてカウントできるかという疑問です。厳しいといえば厳しいのですけれども、子供の反応まではきちんとフィードバックされていないのではないかとということで、本市では今のところこれまで配信した全各学校</p>

	<p>のオンライン学習は、授業としてカウントしていません。</p> <p>今後は、指導担当の方で「ハイブリット授業」と言っておりますが、オンラインとオフラインを組み合わせ、それが授業の中で成立して評価に耐えうるものになっていけば、授業の一環としてカウントしていくことは可能であると思います。</p> <p>そういうことで、これまでの部長の答弁は全て「オンライン学習」で、オンライン授業と言ったことは一度もありません。これは意図的に授業とは言わないで、「オンライン学習」と本市では言っております。明確な定義があるのかと言えば、そこまではありません。</p>
事務局	<p>文部科学省で「オンライン授業」ということはありませんが、自治体によっては、オンライン授業と言っているところもあります。</p>
委員	<p>文部科学省から発出された6月5日付けの通知では、学校で授業を行わなくても授業にカウントできるとあるが、これはどういうことですか。</p>
教育長	<p>文部科学省から、令和2年6月5日付けで、学習活動の指導重点化についての通知が発出されています。これは、特例的な措置として、指導内容によっては、必ずしも学校でやらなくても彩湖自然学習センターや図書館・郷土博物館、公民館、家庭などで実施してもよいということです。</p> <p>これは、学校の教育課程のカリキュラムマネジメントの一環として、全てを学校でやらなくても、事前指導などをしっかり行い、家庭でできることはやらせてもよいのではないかということです。</p> <p>特例的な措置で、極力従来どおりの授業をやるのが望ましいのだけでも、授業時数が足りなくなりそうだったら、そのようなことをやっても良いということです。一方でこのことを前向きに考えていけば、オンラインとオフラインを組合わせてやるということを考えていけば、そういうことも可能ではないかということで、必ずしも特例ということではなくて、本市の学校では考えていこうということです。</p>
委員	<p>オンライン学習を今後、授業として考えていくと、動画配信して、どの</p>



	子が見ていて、どの子が見ていないと把握はできるのですか。
教 育 長	オンライン学習にかかるハイブリット学習については、次回の教育委員会で説明をさせていただき予定です。
教 育 長	それでは、他に質問等がないようですので、続きまして、「報告第9号 令和2年度一般会計補正予算（4月補正）について」について事務局より報告願います。
事 務 局	<p>学務課でございます。「報告第9号 令和2年度一般会計補正予算（4月補正）」子育て支援臨時給付金の就学援助認定世帯分について報告いたします。</p> <p>この給付金は、緊急支援生活対策として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、経済環境の悪化にかかる支援として、就学援助費の支給認定を現に受けている世帯に、子育て支援臨時給付金を支給したというものであります。</p> <p>支給対象者は、生活保護法による被保護世帯及び児童扶養手当の支給者を除く令和2年4月分の支給認定を受けている世帯でございます。児童扶養手当の受給者は、子育て支援臨時給付金として、こども家庭課にて支給しております。支給金額は、1世帯につき3万円です。</p> <p>支給手続きは、不要として、令和2年4月分の就学援助費振込口座に振り込みました。なお、1回限りというものであります。支給日は、令和2年5月11日（月）支給決定世帯数は、561世帯ということで実施いたしました。</p>
教 育 長	教育委員から提案のありました、経済的に困窮する世帯への支援策の一つとなります。質問はよろしいですか。
事 務 局	<p>続きまして、「報告第9号 令和2年度一般会計補正予算（4月補正）」について郷土博物館費の減額補正について生涯学習課より報告いたします。</p> <p>内容といたしましては、委託料5,434,000円を減額補正するも</p>

	<p>のであります。内訳は、夏季展示会ディスプレイ業務で、前回の東京オリンピックで戸田市がボート競技の会場となった歴史の紹介、もう一つは、秋季展示会ディスプレイ業務で、彩湖を取り巻く自然を紹介する写真展で、この二つを新型コロナウイルスの関係で中止したことによる減額補正でございます。</p> <p>このことにつきましては、財政課からの依頼に基づき、新型コロナウイルス対策で、市内の事業者や生活困窮者の支援のための財源とするため、緊急を要することから4月に実施したものであります。</p>
教 育 長	<p>生涯学習課関係では、図書館・博物館がリニューアルオープンしてからコロナ禍であり、教育委員の皆様は、まだ見学されていません。また、彩湖自然学習センターもディスプレイを工夫したりしているのですが、実物を見る機会がないので、落ち着いた段階で、教育委員の方々の見学の機会を考えて案内していただきたい。</p>
教 育 長	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>それでは、質問等がないようですので、続きまして、「報告第10号 生涯学習課所管施設の臨時休館の継続及び再開について」について事務局より報告願います。</p>
事 務 局	<p>「報告第10号 生涯学習課所管施設の臨時休館の継続及び再開について」説明いたします。</p> <p>先程「報告事項」で申し上げましたとおり、政府の緊急事態宣言の解除に伴いまして、本課の所管施設につきましては順次再開している次第でございますが、報告第10号のこの2件の施設については6月1日以降も一定期間、臨時休館を継続し、再開するものでございます。</p> <p>2ページの芦原小学校生涯学習施設につきましては、5月31日まで臨時休館することとしておりましたが、小学校の通常登校の再開時期に合わせ、6月15日からの再開とし、6月14日まで臨時休館を継続しました。</p> <p>また、資料3ページの少年自然の家につきましても、5月31日まで臨</p>

	<p>時休所することとしておりましたが、緊急事態宣言の解除に伴い政府から示された「外出自粛の段階的緩和の目安」によりますと、都道府県をまたぐ移動自粛要請があるため、6月19日からの再開予定とし、6月18日まで休所期間を継続いたしました。</p> <p>なお、ただいま説明いたしました2件の条例等で、休館日を規定しておりますが、それぞれ「その他教育委員会が必要と認めた日」と規定されているため、本来は事前にご了承いただくところではありますが、緊急対応ということで、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。</p>
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	少年自然の家の6月19日からの再開に伴い、学校の林間学校はどのようになりますか。
事 務 局	林間学校につきましては、教育政策室で検討していると聞いております。
事 務 局	林間学校だけは、まだ決定ではありませんが、難しいのではないかと検討しています。どうしても施設が密になり、寝ている間にマスクをするのかという問題となります。他の行事については、延期して形態を変えながら実施する等検討しているところです。
教 育 長	可能であれば、次回の教育委員会で報告してもらいます。林間学校を行かせてあげたい、やらせてあげたいという気持ちでそれぞれ取り組んでいるのですが、密になることを避けなければならないことから、非常に苦労して知恵を出しながら検討しております。また、次回以降、わかり次第報告いたします。
教 育 長	それでは、質問等がないようですので、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、7月16日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりで

	よろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事務局	特になし
教育長	その他に委員から教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	経済的に苦しい方への教育的支援について報告してください。
委員	学力調査から戸田市が身につけたい能力について報告してください。
教育長	その他に委員からございますか。
教育長	また、以前の学力調査の提案に含めて、戸田市が学力の上で目指しているもの、必要とするものを含めて報告してください。キー・コンピテンシーとして、可視化して、何ができるようになるのか、何を学ぶのか、戸田市版でわかるように教育政策室でお願いします。
委員	先程の議会の質問から、また私もわからなかったのですが、学校給食のフードロスをなくすための食材を配っていたことを議員が知らない。やっていたのならば、そうした試みを教育の一環で知らせることは戸田市の教育の姿勢を知らせるということで大事です。
教育長	そのために、議会の常任委員会などでも報告しているのですが、特に今般はコロナウイルスの影響もあり、限られた時間で正しく伝わっていません。
事務局	今回のコロナウイルス時の議会の常任委員会は、コロナウイルスの関係で、2回連続で会議ではなく質問提出となったため、限られた内容の中で、フードロスについて個別に取り上げられなかったためです。
教育長	資料に書いてあっても、行間まで伝わらない場合があるため、情報の伝

	達や周知に改善の余地があるというのが結論だと思います。
委 員	いかに情報発信するか検討いただきたい。
事 務 局	承知いたしました。
教 育 長	それでは、質問がよろしければ、「報告事項③及び④、報告第11号から第14号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。
	【報告事項③及び④、報告第11号から第14号を報告し閉会】